

【施策評価調査】

施策名	1-4-1 石綿セメント管更新事業	78	政策を推進するには、より安心な水道水の安定供給が必要であるため ① より安全な水道水の供給……老朽管による漏水の解消 ② より安定した水道水の供給……配水管網の整備による水量・水圧不足の解消 ③ 顧客満足度の高い水道事業の運営……モニター制度導入による公聴の充実 以上の事を解消する事により、安心した水道水を供給します。当施策は、①の観点から実施します。
担当部課	建設産業部上下水道課	担当 建設整備担当 リーダー 阿久津 幽樹	
環境変化	平成20年8月に石綿セメント管更新事業計画を策定し、事業期間は平成20年度から平成26年度まで、国庫補助基本額は340,000千円、国庫補助額は135,000千円の計画で、国庫補助事業の認定を受けた。		より安全な水道水を安定供給するため、他の公共事業と連携を図りながら、老朽化した石綿セメント管を計画的に更新します。

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①: 石綿セメント管更新整備計画延長25,616m	平成16年度までの実績	計画	21.0%	26.0%	34.8%	47.9%	61.0%
	12.9%	実績	↑ 22.9%	↑ 32.4%	↑ 38.2%	↓ 47.2%	
指標②:		計画					
		実績					
指標③:		計画					
		実績					
◆◇ 指標に関する特記事項 ◇◆	毎年、除却された石綿セメント管の累積率となっています。平成21年度末12,086.00m(石綿セメント管更新累積延長)÷25,616m(石綿セメント管更新全体延長)=47.18%						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	61,980,000	99,800,000	112,420,000	119,059,000	
	決算	36,445,500	110,866,875	83,737,500	153,457,500	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
①宝積寺地区石綿セメント管布設替事業	当初 119,059,000円	石綿セメント管布設替工事延長	A	平成20年度より国庫補助事業の採択を受け工事を実施したことから経営の安定に寄与した。老朽管の破裂事故の解消や耐震性が向上することで、水道水の安定供給が図られた。			
	決算 153,457,500円	2,946.30m / 2,072m		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
②	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

■施策事後評価 21年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	配水管布設替工事を発注する前に、町広報において広く周知し工事に係る交通対策等について理解と協力を得た。	工事実施にあたっては、次期下水道認可区域は下水道工事と同時施工、又市街地管網整備事業もセットで事業を行う。駅西第2地区は地域の計画決定後に実施する。
総合評価	他事業と連携し、継続的に施策展開されていると評価する。後期計画に向け、引き続き関連する他の施策との整合や連携を図り、施策展開をするともに、管網整備だけでなく、耐震診断結果による配水施設等の耐震についても、財政状況を勘案した整備計画を検討すること。	